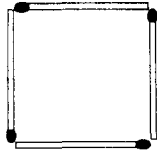


数理パズルを楽しもう(14)

問題 マッチ棒4本だけで、図のような正方形をつくってください。ただし、マッチ棒を太さのない幾何学的な線分とみなします。



[11月号(691ページ)の解答] 点Pを、

$$\angle APB = \angle BPC = \angle CPA = 120^\circ$$

のように定めれば、それが求める点である。これを示すには、3点A, B, Cを各辺にもつ正三角形DEFを図のようにつくる。ここに、

$$\angle A = \angle B = \angle C = 90^\circ$$

としておくことが大切である。すると、正三角形の内部の任意の1点P'から、3辺に下ろした垂線の長さの和

は一定で、その和をLとすると、

$$L = PA + PB + PC$$

となる。一方、点P'を点Pと異なる点とすれば、P'A, P'B, P'Cの少なくとも1つは正三角形のそれぞれの辺と垂直でなく、

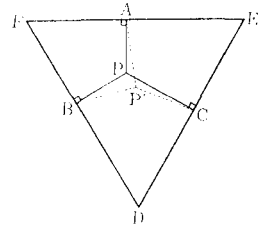
$$P'A + P'B + P'C > L$$

となる。つまり、3点A, B, Cからの距離の和が最小になる点は、点Pである。点Pを、3点A, B, Cに対する Steiner Point とい

う。なお、 $\triangle ABC$ の1つの角が 120° 以上になれば、Steiner Pointは存在せず、鈍角をはさむ2辺が、3点を結ぶ最短路となる。

(中村義作

信州大学工学部)



FORUM

会合記録

()内は出席者数

| | | |
|---------|-----------|-------|
| シンポジウム | 10月19日(木) | (59) |
| 支部長会議 | " | (12) |
| 理事会 | 10月20日(金) | (16) |
| 秋季研究発表会 | 10月20~21日 | (314) |
| ORサロン | 10月21日(土) | (11) |

編集後記 ▼今年最後の号をお届けいたします。OR誌は、これまで伝統的に毎年表紙のデザインをかえてきました。このデザインの表紙もこれが最後と眺めている人には申し訳ないのですが、編集会議で来年も同じ表紙を使用することが決まったことを御報告しておきます。

今月号は地域のORを特集しました。トップの視点のなかにかかれていた驚くべき数字にもあらわれているように、わが国はすでに国土を高度に利用し過ぎており、この傾向がますます強まると予想されています。都市に

会員増強タスクフォース

11月1日(水) (6)

研究普及委員会 11月2日(木) (11)

編集委員会 11月9日(木) (12)

第4回理事会議題 10月20日(金)

1. 第3回理事会議事録の承認
2. 入退会の件
3. その他

しか住めなくなり、その都市が今よりもっと住みづらくなるのを防ぐにはどうすれば良いかといった問題をはじめとして、ORの専門家の知恵を必要とすることが一杯あります。都市や地域はORの問題の宝庫であると言える人もいるぐらいです。我こそはと思う方はどんどん地域のORに参画して下さい。

まだ晩秋の暖かい日が続いていますがやがて冷たい木枯しの吹く本格的な冬を迎えます。どうぞ風邪を引かないように気をつけられORの会得に励んで下さい。(S)

オペレーションズ・リサーチ

昭和53年12月号 第23巻 (新シリーズ第3巻) 12号 通巻216号

代表者 小林 宏 治

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒113 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
(電話 03-815-3351~2)

編集人 奥野 忠 一

発売所 株式会社 日科技連出版社

〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2

本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ

定価 650円 (郵送料含) 年間予約購読料 7,200円 (郵送料含)

本誌への広告お申し込みは日経弘報社(563-2241)、明報社(571-2548)へ